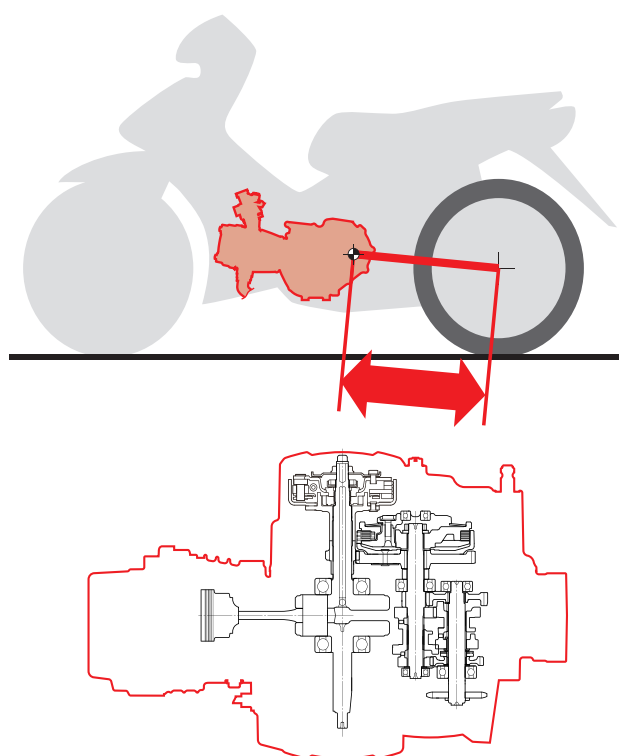


手軽に、そして便利に使えることから、今や通勤用は世界中で多くの人々に愛用されています。その使い方や使用環境も、初心者入門用として、タフネスさを要求される業務用として、あるいは道路整備が十分ではない国での貴重な移動手段としてなど、多種多様なものとなっています。

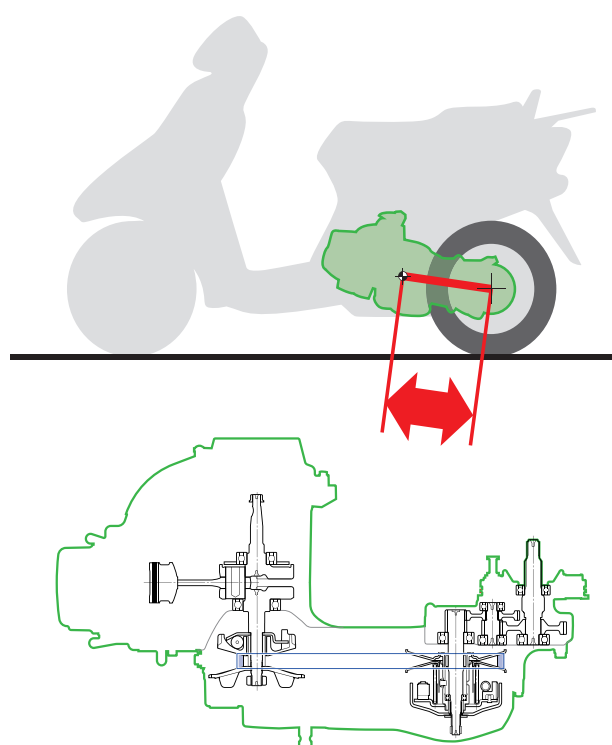
近年、世界的な潮流として、こうした通勤用に求められているのが、ギアチェンジ操作の不要なオートマチック・トランスミッションを搭載したエンジンです。通勤用のエンジンのAT化については、スクーターに代表されるVベルト式無段変速機構を採用したエンジンが一般的ですが、今回Hondaは既存のVベルト式無段変速機構をよりコンパクトにしたCVマチックを開発。パネ上に配置される小型モーターサイクルエンジンのクランクケースに、Vベルト式無段変速機構の搭載を可能としました。

これによりエンジン搭載位置を大きく変更することなく、スクーター以上に様々なシチュエーションで使用されるうえ耐久性も要求されるスーパーカブタイプの車体にも搭載が可能となり、通勤用のさらなる用途拡大が図れます。

カブタイプ



スクータータイプ



カブタイプは、エンジン搭載位置により、スクータータイプと比べ容易に大きなタイヤサイズを選択できる。